

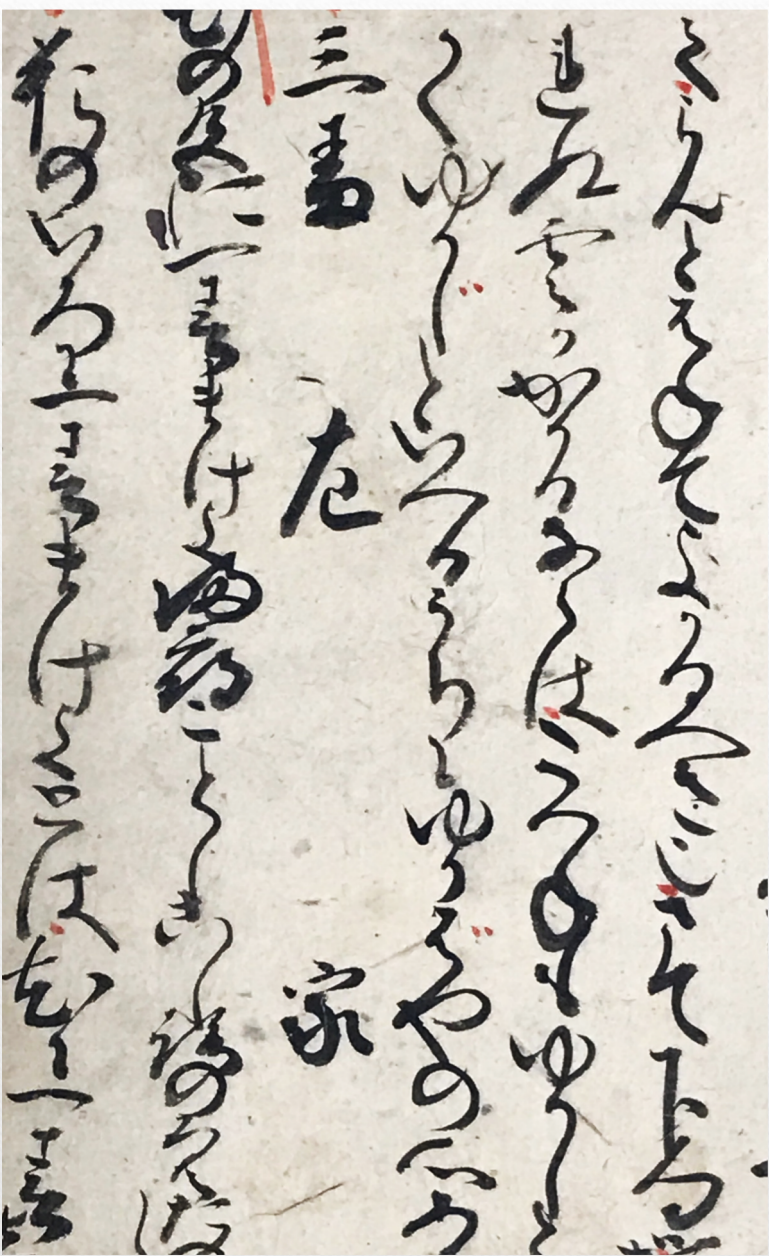
濁音を探せ！

く 仮名文献の

濁点の歴史く

総合文化研究科 超域文化科学専攻
比較文学比較文化分野 博士課程

佐藤 嘉惟



室町期写定家家隆両卿撰歌合注釈切（架蔵）

◎ 自己紹介

研究の領域

- 能楽研究
- 能の歴史と「文字」の関わり

趣味

- 能楽… 写本―上演？
- 音楽… 楽譜―演奏のよう
- 古い本を眺める・（買う）

① レクチャーの指針

↳ 写本の姿に

親しむための一歩

目的

- 濁音を手掛かりに、現代と違う“文字文化”について知る

目標

- 濁音の表記の特徴について、仮名文字の体系との関わりから説明できる
- 濁音の歴史的な表記法を、三つ以上挙げられる

② 濁音だけでも重要

↳言葉の判定や

解釈を変える↳

言葉の判定を変える

×「おごめく」

○「おこめく」

歴史的な濁点の付け間違え

参照…白石(二〇一〇)

解釈を変える

×「しぼる」(絞る)

○「しほる」(霑る)

和歌の解釈の更新

参照…岩佐(二〇一一)

③ 濁音を仮名で書く

く濁音専用の字は

今は存在しないく

仮名文字の体系における濁音

清音

かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
はひふへほ

濁音

がぎぐげご
ざじずぜぞ
だぢづでど
ばびぶべぼ

濁点という補助記号なしには
清・濁を文字上で区別できない

④ 歴史的表記 その一

濁点を打たない

しつしつとあるありありと
まゝにひらきとて成るく
しつしつとありけり成るく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく
あゝいとくくくくくくくく

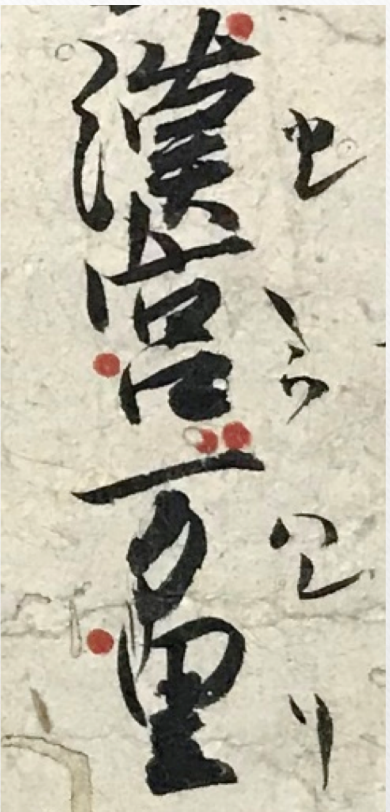
⑤ 歴史的表記 その二

寺院生まれの

濁声点(だくしょうてん)

出発は經典の正しい音読

梵語→漢語→日本語の表記へ拡張



鎌倉期写和漢朗詠集切(架蔵)

● 印1個⇨声点(しょうてん)

● 印2個⇨濁声点(だくしょうてん)

⑥

ワーク その一

濁声点という

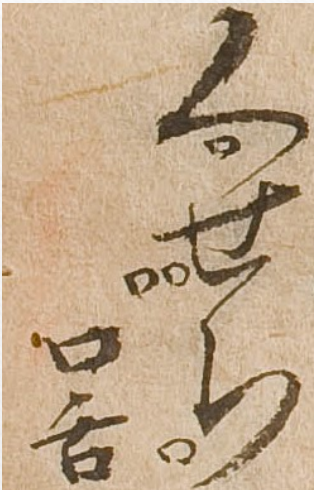
表記に慣れよう

けこ (笥籠)



(一)

くせち (口舌)



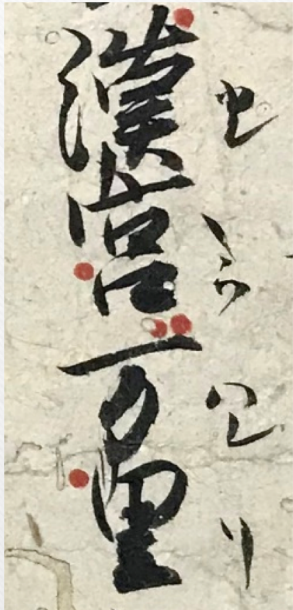
(二)

⑦

ワーク その一

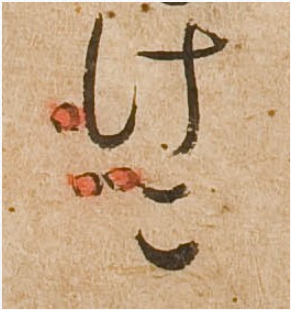
く 仮名文字につく
声点のポイントく

漢字（漢語）のため Ⅱ 四隅



再掲.. 和漢朗詠集切（架蔵）

仮名のため Ⅱ 文字の左側



再掲.. 文明18年写伊勢物語

（国文学研究資料館鉄心齋文

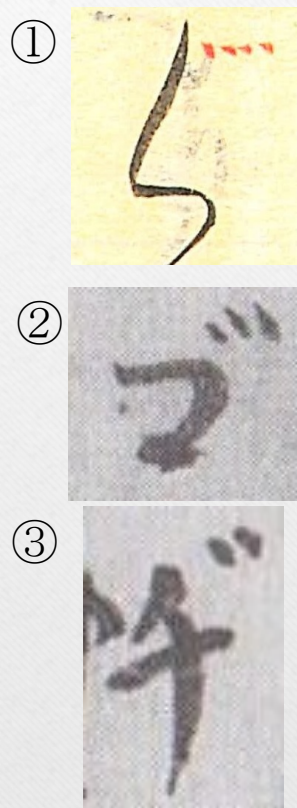
庫）

⑧ 歴史的表記 その三

ゝ濁点の誕生ゝ

濁声点が文字の右側に移る

- 濁音を示すだけの記号 || 濁点
- 2個の○印が変化



現代に近い形の濁点は
能の資料が最古。

①国文学研究資料館(監)『伊勢物語:坊所鍋島家本』(勉誠出版、2009)p.14

②・③月曜会(編)『世阿弥自筆能本集:影印篇』(岩波書店、1997)p.4

⑨

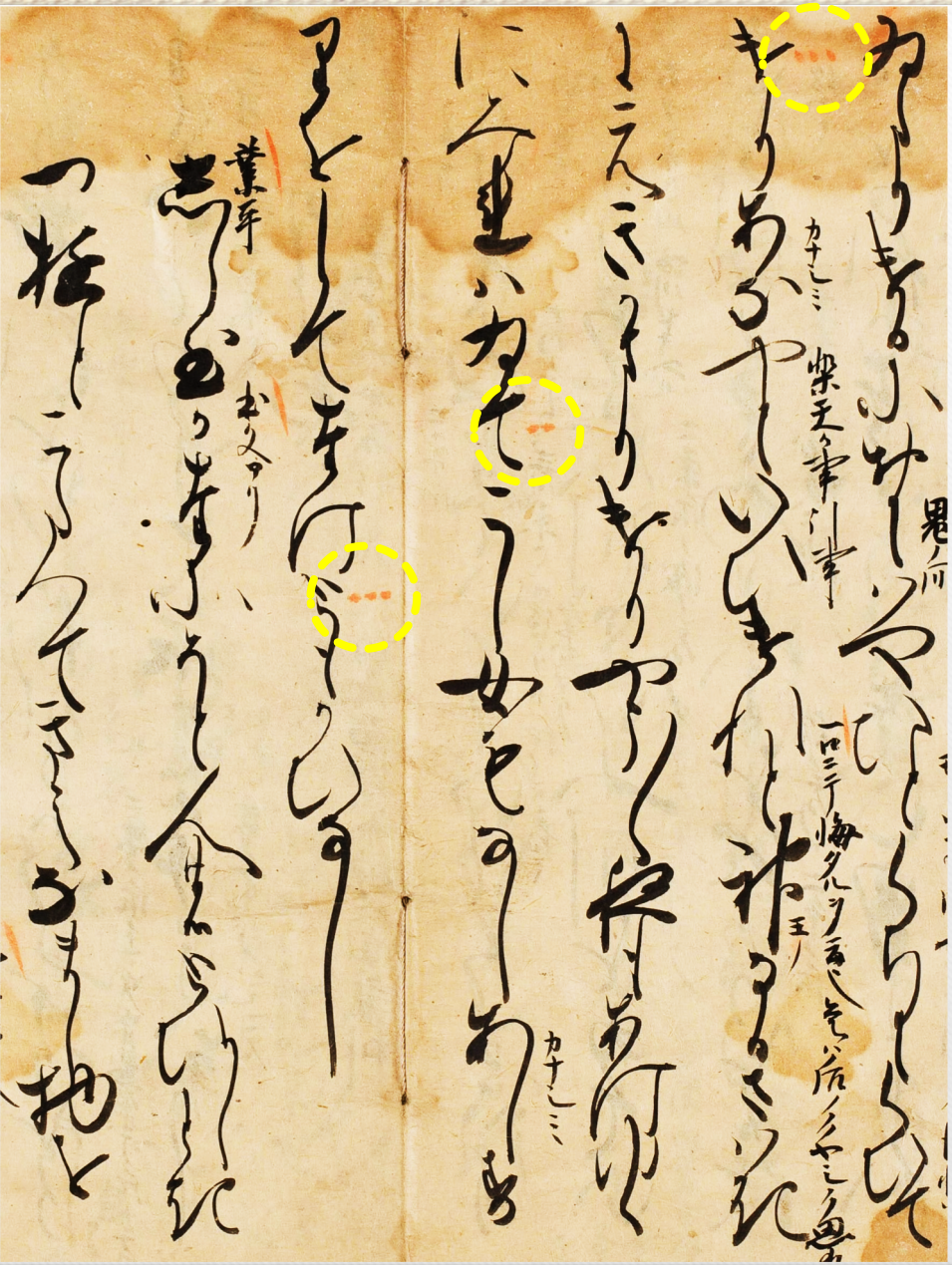
ワーク その二

写真の中に

濁点は何ヶ所？

濁点は朱色

三〇秒間で探してみてください



室町期写 永享5年正徹奥書本 伊勢物語
(国文学研究資料館鉄心斎文庫)

⑩

ワーク その二

～ 解答編 ～

みたりけるに、おにはやひとくちにくひて
げり。あなやといひけれど、神なるさはぎ
にえきかざりけり。やうく夜もあけゆ
く
に、みればあでこし女もなし。あしず
りをしてなけども、かひなし。

しら玉かなにぞと人のとひしとき

つゆとこたへてきえなまし物を
濁点は3ヶ所 ⇕ 濁音は9ヶ所

- やはり、濁点をあまり使わないのが一般的な表記法だった。

⑪ まとめ

↳ 付発展的論点↳

濁音の表記の特徴

- 仮名文字は補助記号なしに清音・濁音を区別できない

歴史的な濁音表記法

- そもそも補助記号を使わない
- 濁声点を使う
- 多様な濁点（点の個数・形など）

発展的論点

- 濁点の使われ方を比較することで、文献に期待された“読まれ方”を推測することができる

⑫ 文献案内

濁点の歴史

- 築島裕（一九六三）「濁點の起源」『東京大學教養學部人文科學科紀要』三三二
- 屋名池誠（二〇一〇）「仮名はなぜ清濁を書き分けなかったか」『藝文研究』一〇一
- 沼本克明（二〇一五）『歴史の彼方に隠された濁点の源流を探る』汲古書院

濁音と解釈の関係

- 白石良夫（二〇一〇）『古語の謎…書き替えられる読みと意味』中央公論社 第四章 「濁点もばかにならない…架空の古語の成立」
- 岩佐美代子（二〇一〇）「「しほる」考」『和歌文学研究』一〇二